

一雄齋國揮画



柳下亭
種貞譯

升題曲豆周魚

初編下

13
3415
2

浪間あまの廻めぐり鳩ちま

朝あさ朝あさ朝あさ



初編上

13
3415
1



浪廻嶋 あま りめぐり ちま

間 まの

奈 な 朝 あさ



初編上

13
3415
1

柳下亭種員拙譯

嘉永四歲辛亥孟春

鳴巡浪間朝日祭

弟初編

上之卷

一雄齋國輝西圖



書肆紅英堂或曰余草廬之來訪故人曲亭翁が遍述其朝夷巡島
記と國字文の綴れよと予諾以原本文化甲戌歳の刊行鳴巡は号虚
かど其書ハ海外の走り高評ハ四隅に鳴柳隻が諸書不涉る彼義秀が
諸嶋に渡るが如く羊々數部れ長譯ハ長脚島の行藤物久引用
數本小手に至る長臂嶋の棚搜も及と或者官嗣編と云形景女護島
小南風を待たざる異も鳴呼自擬嶋の開闢以來未曾有れ大家の著作
紙小人嶋の僕如き拙筆に譯更ハ徑廷所為る書房の需め固辞
難くて此嶋巡の儀揖上船權ハ帆ハ西と壘とる筆硯紙墨文房具も
揃ふ書卓は元船既ハ鉄猫と引揚と福壽海の大津漕出黄金と積を
茂客の庫に湊入る事欲る而已

嘉永辛亥献歳

柳下亭種員識



和田義盛三男
阿三九
朝夷三郎平義秀



安房國
大猪
洋江の
農民豊六
兼平
夫也

英聲懷絶域
勇敢鎮窮邊

ひくやうきのみ

たぢあぢ

山乃

山乃

以乃とれ

あつらん

著作堂

和田の良等
腰越
朝夷
六郎



義盛の室
斬繪御苜



阿三丸
の乳母兼手
後巴尼と法号也

あつらひ
維新乃
聲

美乃安
田鶴嬢子

月



朝日奈
初

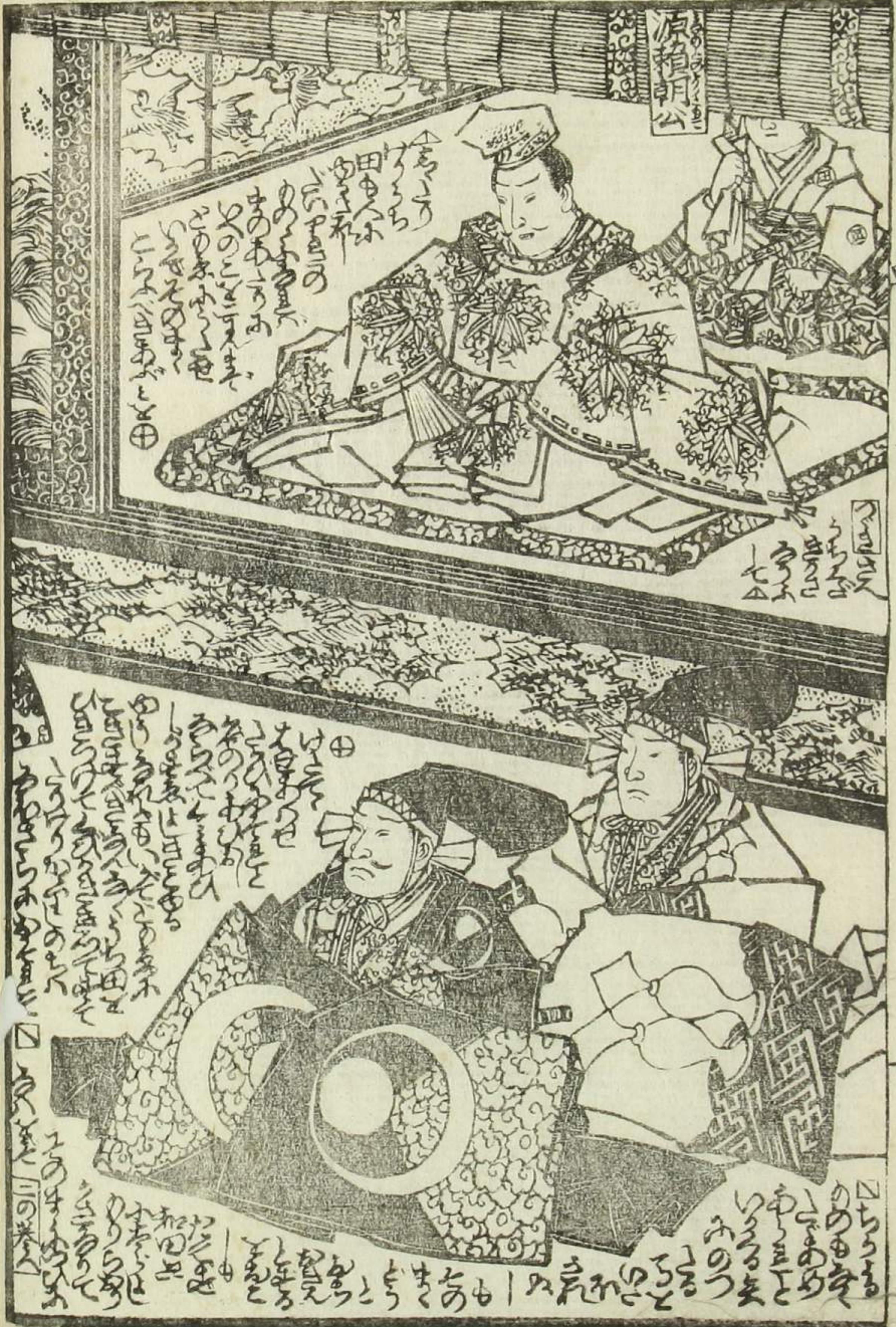
刀野兼杖照時嫡子
今太郎時夏

隠
を
乃
身

素園

時夏の
若黨
子井平
後
光藏
仲人
号と





車 日本 初

五

此の茶の味は... (Vertical text describing the tea's quality and origin, including mentions of '信州上田東山堂製')



種員譯

國輝画

Price information: 一匁 三匁 五匁 十匁 二十匁 四十匁 八十匁 一匁 三匁 五匁 十匁 二十匁 四十匁 八十匁

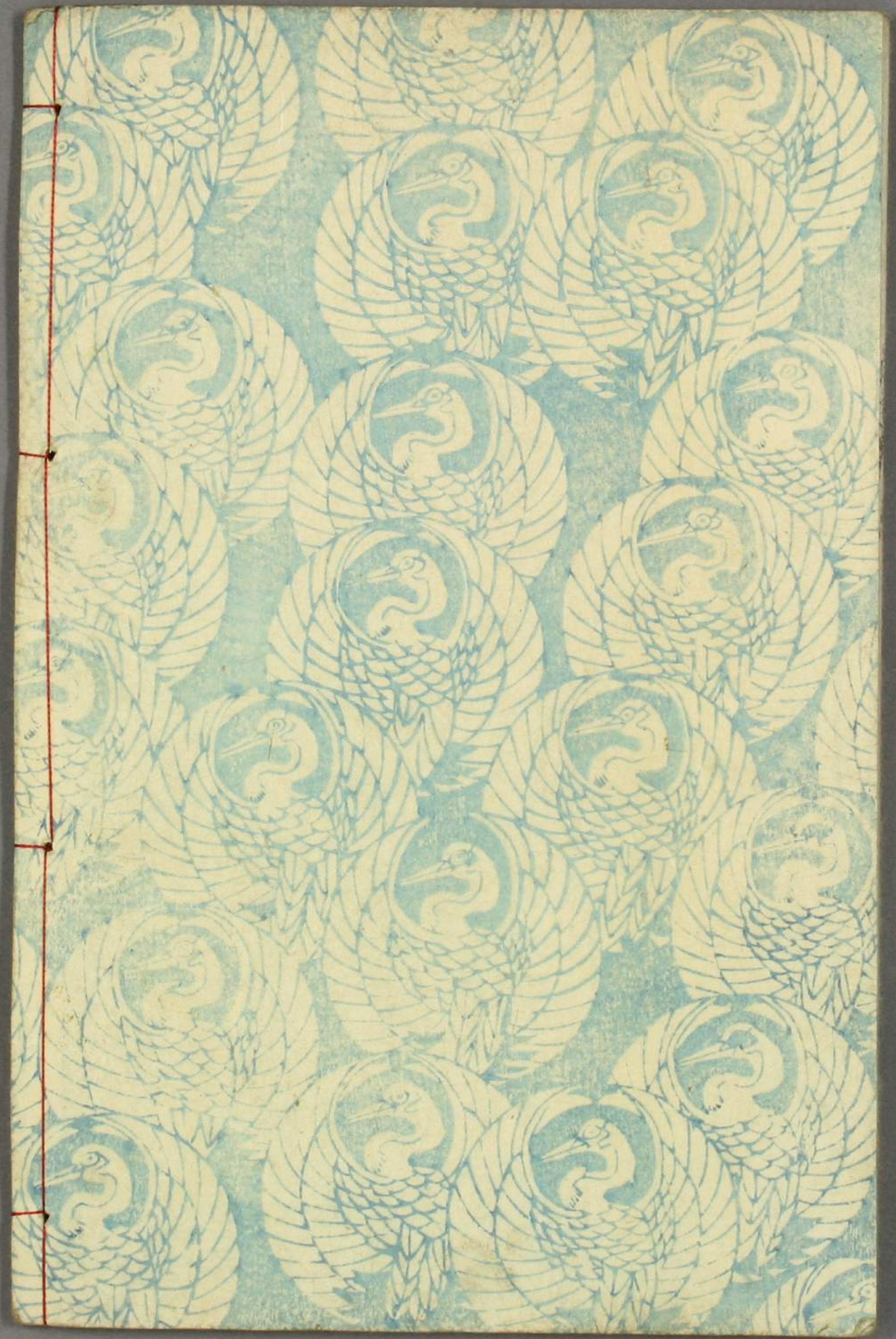
無... (Vertical text describing a tea variety)

一袋 代四十八銅

御免... 信州上田東山堂製 (Main tea advertisement text with a circular logo)

白芙蓉 一色三十六文 曙の富士 一色三十六文

中橋南傳馬町丁目 法多や吉藏 一色廿四文



一雄齋國揮画

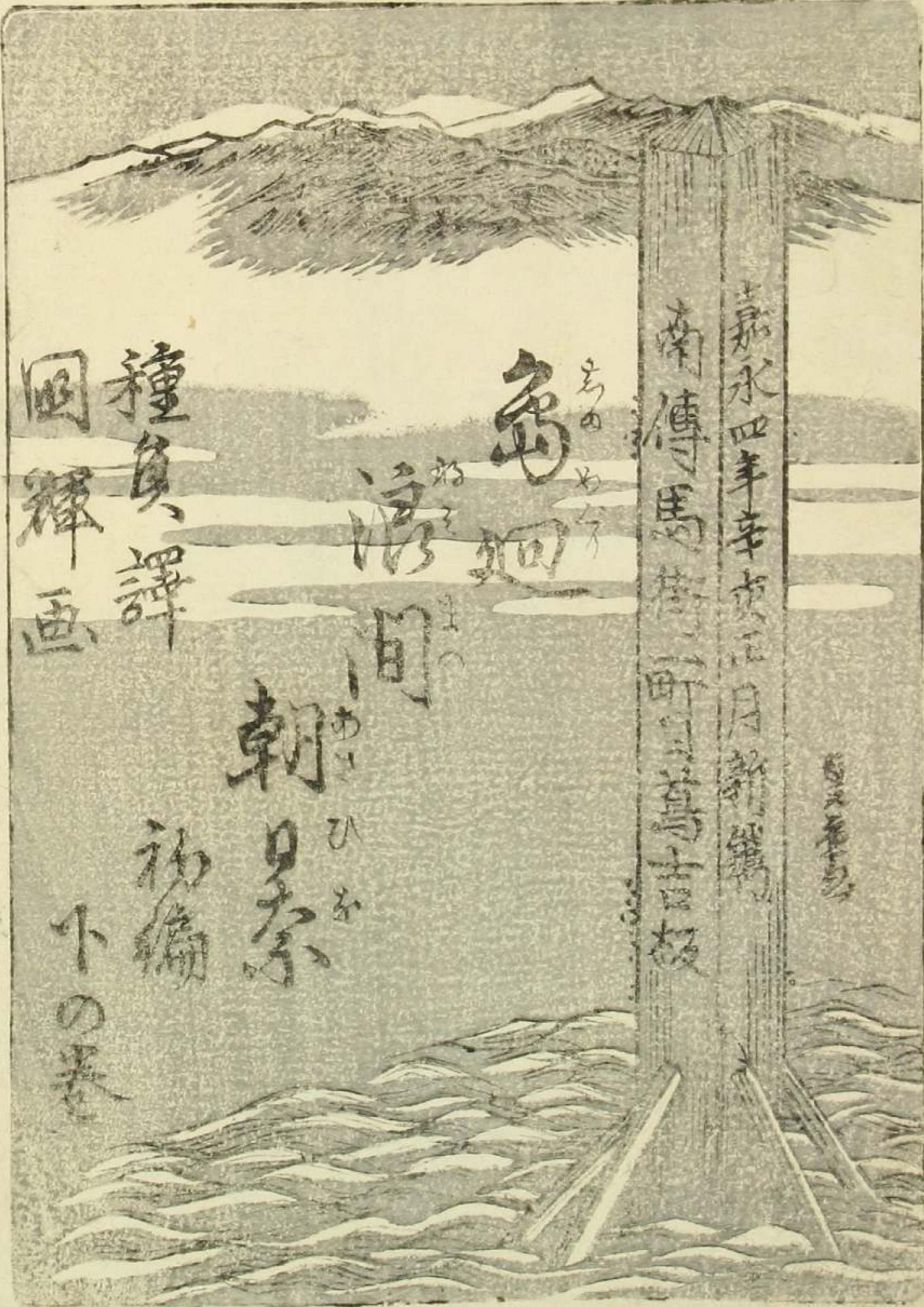
柳下亭
種員譯

升
題曲五周魚

初編下

13
3415
2





嘉永四年辛寅正月新編
南傳馬楚二町三島吉板

島廻

浪間

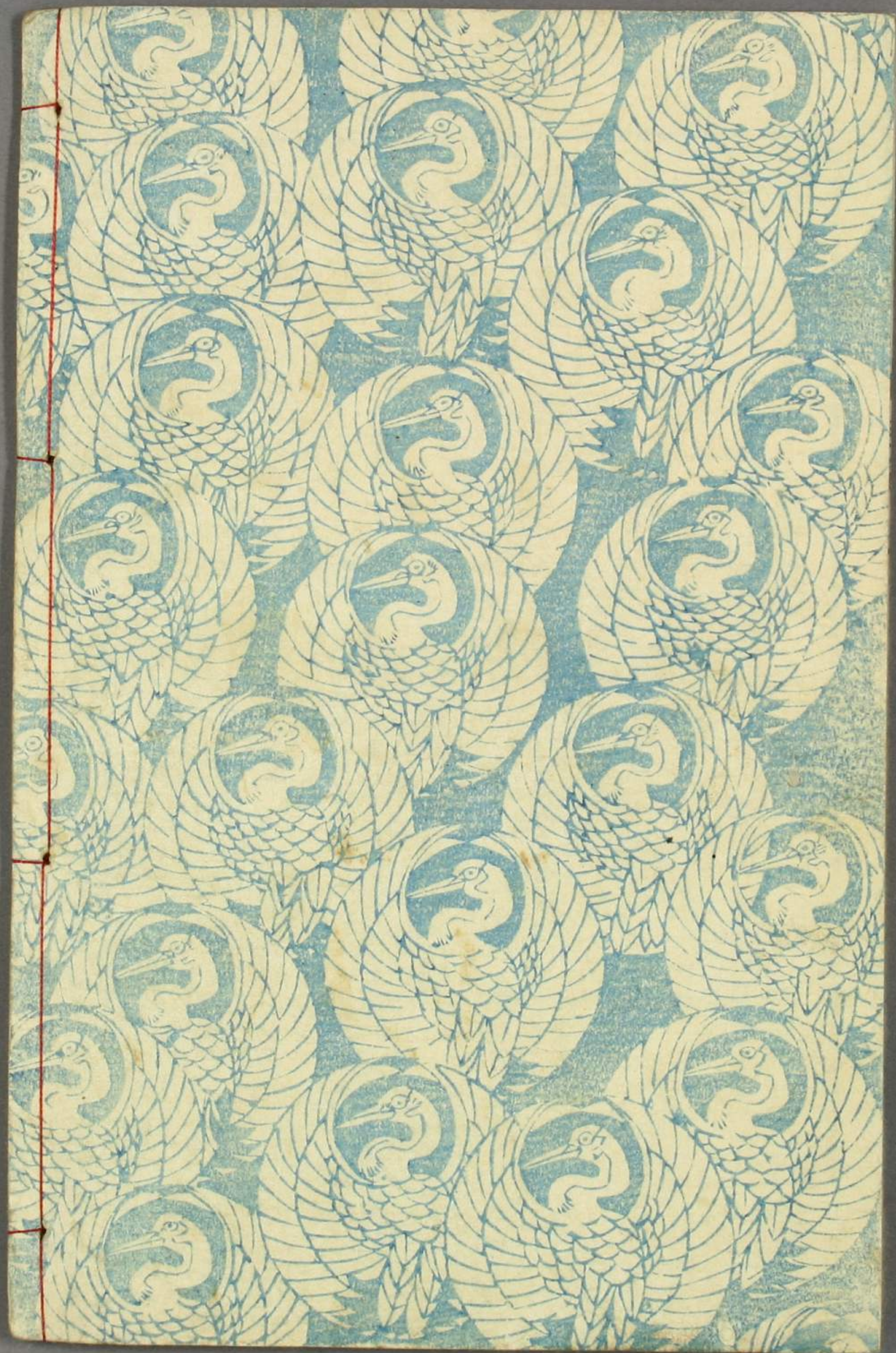
朝日系

初編

種負譯
國釋画

下の巻





游中

治内

朝日宗

種負釋

四輝画

弟初編



葛吉板

13
3415
1-2